

一関清明支援学校

研究テーマ

「一人一人の豊かな学びにつながる授業実践」
(2年次研究2年目)

1 全体研究

(1) 主題設定の理由

前回研究では、新学習指導要領について学びを深めるとともに、幼児児童生徒の「主体的に学ぶ姿」を導き出すことを目指し、実態把握や系統的な指導計画の策定、指導改善等を行った。

本研究は、前回研究の成果や課題を踏まえ、「一人一人の豊かな学び」を目指すため、障がい種や教育課程、実態に応じながら、各学部・各分教室でテーマを決定し、それぞれの幼児児童生徒の豊かな学びを目指すため、授業実践を行う。

(2) 研究目標

- ① 幼児児童生徒の「豊かな学び」へつなげるための検証や実践の蓄積を行う。
- ② 「豊かな学び」を実現する手法を明らかにする。

2 各学部・分教室研究テーマ

(1) 本校舎小学部

思考力・表現力を高めるための授業実践

(2) 本校舎中学部

ICTを活用した、個々の学びと協働的な学びの充実を目指して

(3) 本校舎高等部

高等部卒業後の生活につながる授業づくり

(4) 山目校舎小学部なのはな学級

豊かな生活につながる授業づくり ～各教科等を合わせた指導の授業改善をとおして～

(5) 山目校舎小学部わかば学級

集団学習における、人やものとの関わりを促す授業づくり ～音楽的な内容の集団学習「どれみタイム」をとおして～

(6) あすなる分教室

人との関わりを広げる授業づくり ～集団学習の充実を目指して～

(7) 千厩分教室小学部・中学部

学びを実生活に生かす授業づくり ～子どもの次のステージを想像して～

3 講演会

演題：発達障害と愛着障害の関係と支援について

講師：国立大学法人和歌山大学 教育学部
教授 米澤好史 氏

期日：令和5年7月25日(火)

4 研修会

(1) 本校舎幼稚部・小学部

東北聾教育研究会幼稚部研究会開催「主体的に関わり合う力をはぐくむために～個に応じた環境構成の在り方～」

(2) 本校舎中学部

講話「特別支援教育におけるICTを活用した授業実践について」

(3) 本校舎高等部

講話「卒業後に生かせる評価 ～適切に自分を見つめなおすための自己評価の在り方について～」

(4) 山目校舎、あすなる分教室合同

講話・演習「音楽療法がもたらす効果と指導の実践～児童生徒の豊かな生活につながる視点から～」

(5) 千厩分教室小学部・中学部

第64回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会(福岡大会)オンライン視聴

5 刊行物

研究集録の刊行なし。ホームページで公開する。